

社会貢献活動に助成

宮城や福島など

24団体に3580万円

パチンコ店の団体

全国のパチンコ店などでつくるパチンコ・パチスロ社会貢献機構（宮田亮平代表理事）は21日、生活困窮世帯の支援や子どもの育成などに取り組む宮城、福島など17都道府県の24団体に計35,80万円の助成金を贈った。

事業などに取り組む一般社団法人WATALIS（ワタリス）や、福島県で人々の声から震災の教訓を学び伝えている一般社団法人ヴィオス・オブ・フクシマなど。ギャンブル依存問題などの解決に取り組む特定NPO法人仙台夜まわりグレープも助成を受ける。

機構は2005年、パチンコ店の全国組織「全日本遊技事業協同組合連合会」を母体に全日本社会貢献団体機構として発足した。本年度の助成金には92件の応募があった。

助成対象は、東日本大震災で被災した宮城県亘理町で遊休農地を活用した交流